

経営のヒント204 チャンスの入り口

「秋元康の名言」

秋元康が google+ で、AKB48 の 生 選抜メンバーに贈った言葉が名言すぎる。

成功するためには、何が必要か？

.....運です。

僕はこの 38 年間、スターと呼ばれる人たちを見て来ました。

僕も何人もプロデュースして来ました。

そこで見たものは、運です。

どんなに実力があっても、運がないとスターにはなれないのです。

じゃあ、努力をしても無駄なのか？

努力は報われないのか？ そんなことはありません。

努力は必要です。

言い方を変えれば、努力は成功するための最低条件です。

みんな、必死に努力して、じっと チャンスの順番を待つしかないのです。

大ベストセラー「もしドラ」を書いた岩崎夏海は、僕について 16 年後に成功しました。

僕のドライバーをやっている時も、ずっと、小説を書いていたんですよ。

いつか、必ず、チャンスの順番が来ると信じなさい。

自分の境遇の悪さだけを嘆いていても始まりません。

頑張れとしか言えないんだ。

僕がチャンスを作っているのではありません。

僕からのチャンスを待っている間はだめですね。

「私だって選抜に入れば...」

「私だってドラマに出れば...」

「私だってコマーシャルに出れば...」

それがチャンスだと思っているかもしれませんが、それは違います。

それは、チャンスの出口です。

みんなに見つけて欲しいのは、チャンスの入り口です。

例えば、松井咲子。彼女のチャンスの入り口は、音大に入ったことです。

趣味の域を越えているから、代々木でコンサートをやった時、「ポニーテールとシュシュ」を弾いてもらったのです。

「TEPPEN」にも繋がりで、ぐぐたすで、さらにブレイクしたということです。

アルバムを出すのは、チャンスの出口です。

このアルバムを名刺がわりにどう進むか？ です。

選抜も、コマーシャルも、番組も、僕が一人で決めているわけではありません。

最終決定権は僕にあります。いろいろなスタッフの意見を聞きます。

そこに、もっと、いろいろな名前が出て欲しいんですよ。

つまり、松井咲子のような小さな努力や運が見えて来ないんです。

今の自分にできることを考えなさい。